

君津の暮らしを考え隊

2019.10

# 知り隊ニュース No11

小糸公民館と共催の講座  
「みんなで考えよう  
今後の市の施設」  
の報告

## 市の施設 何を無くして何を残すの？



8月31日、小糸公民館にて千葉大学教授大塚成男氏を講師にお迎えし、参加者35名が公共施設再編シミュレーションゲームを体験し、君津市のことを考える機会としました。

君津市財政の  
実情と課題

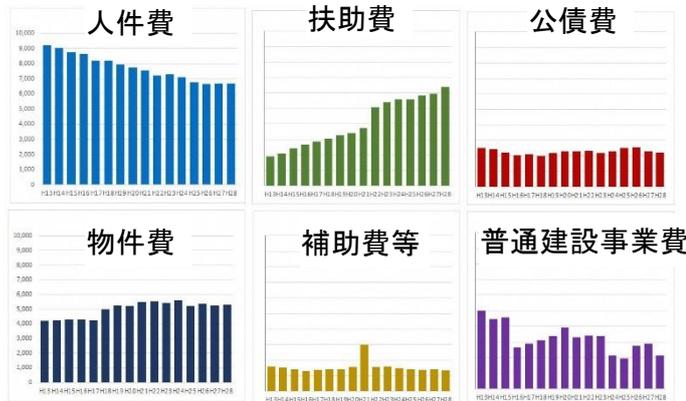
公共施設再編  
シミュレーションゲーム

平成29年度  
バランスシート探検隊  
報告

### 大塚先生の講義

税金は頭打ちの状態、  
収入の増加は見込めない  
歳出では

人件費の削減を、扶助費  
の増加が上回り、赤字に  
ならないように普通建設  
事業費を抑制している



全ての公共施設を  
維持しようとする  
と年間17.6億円  
足りない

公共施設を減らす  
必要がある 次頁へ



# 公共施設再編 シミュレーションゲーム

公共施設の配置計画を考えるゲームです。  
限られた予算のなかで、**増える高齢者**、**減る子ども**に  
対応するように、公共施設の新設、廃止、複合化を、  
みんなで話し合っ決めていきます。

1. まず、4地区に小学校・公民館などの公共施設を配置し、その上に、  
Ⓜ 高齢者 Ⓜ 子ども Ⓜ コストを配置する。

2. **社会情勢カード①**に書かれた内容を解決するために、経費内で、公共施設を廃止・新設・複合化し、高齢者や子どもを施設内にあてる。

3. **社会情勢カード②**に書かれた内容を解決するために、同じ作業を行う。



**社会情勢カード①** 2030年(15年後)  
子どもが2千人減、高齢者が3千人増。2億円以上の削減  
**社会情勢カード②** 2045年(30年後)  
子どもが2千人減、高齢者が4千人増。4億円以上の削減

## 5グループの結果は、みな違っていました。



ルールは多く、正確に進められたわけではありませんが、大事なことは、**みんなで意見を出し合い決めていく**ことです。  
10分という短い時間も、長いと黙って考えはじめるからだと思います。



## ゲームの感想

少子高齢化及び市全体をみて考えることの大切さ、目先のことだけでなく、皆でよく話し合い考えていくことの大切さを実感した

高齢者の施設が各地区に必要なようになってくることが分かり、反面、地域が活性化するためには、小学校など、周辺地域に残してほしい。

ゲームを進める上でもう少しグループ内のディスカッションができればよかった

シミュレーションゲームはとても楽しみながら行なうことができた。休憩時間にリベンジしたが、どうしても予算が足りなかった

家にいてもやれないゲームだったので、参加してみてもよかった

施設の見直しの大切さをゲームを通して理解することができた

## 平成29年度 バランスシート探検隊 報告

平成29年9月、経営改革推進課が「多くの方に本市の財政状況を理解してもらうため、財務書類を基に財政状況や公共施設等の現状を調査・分析する取り組み」として「君津市バランスシート探検隊」を開催しました。参加した当会の会員から報告をしました。

※詳細については、市のホームページの「君津市バランスシート探検隊報告書」をご覧ください

市民文化ホール



君津新橋



中央図書館



生涯学習交流センター



バランスシート(貸借対照表)等をもとに現状を把握した後、実際に見学し担当職員に質問しながら、「役立ち度」を確認していきました。

## 今年も「バランスシート探検隊」に参加しました



また、知り隊ニュースでご報告します

今年は、橋梁とトンネルが対象。壊れてから直すのではなく、予防保全型に移行したが、インフラ整備費は交付金と市債に依存し、橋梁の修繕は計画の23%と進んでいません。

広い君津市ではインフラ資産の維持費は大きな負担となっています。



駅前大橋	中野	平成18年	後生橋、釜神橋の慢性的渋滞解消に。憩いの場としても。
大盛橋	大戸見	昭和30年	老朽化が著しく、すれ違いが可能な幅員での架け替えを計画
清水トンネル	加名盛	昭和62年	50、60年代に拡幅され幅員が異なる。補強拡幅工事中
藤林隧道	坂畑地先	昭和44年	耐用年数30年を超え48年稼働し老朽化が激しい

# Q & A

## ～参加者から大塚先生に～

Q. 一市だけでは大変。合併も考えた方がよいのでは？

A. 水道は広域化している。良い悪いは言えない。大きくなればなるほど時間がかかるので、早くやり始める必要がある。

Q. 財政は余裕が無く財政調整基金も減っているが危機意識が無い。

A. だから学習会等をやっている。経営改革懇談会でも10年前とは違うと意識を変えるよう発言している。

Q. ゲームの最適解はあるか

A. 無い。対話が大事。一人でするときれいにできる。



### 参加者の感想

話の内容はやや難しく感じたが、ゲームをする中で問題点もみえてきてわかるようになった。

人口減少時代を目の前にして知恵を出し合わなければいけないと思う。

先生のお言葉で、議員になられる方に財政のことを意識してほしいし、市民はそれを議員に求めていかなければということを重く受け止めたいと思います。

人の話を聴くことの難しさを痛切に感じるとともに、行政も厳しい局面にあることを思い知らされた。

人口減を考えると統廃合は止むを得ないと思います。しかし、人口の少ない地域にも公共施設はどんな形でも残せると良いと思う。

市民対話を基にした施策を目指していると思いますが、まだまだ対話する素地ができていないように感じます。インフラを整備・廃止する場合はビジョンというか基本的な考え方について説明してほしい。

### 会員の感想

君津の暮らしのこれからを一緒に考えてくれる仲間が増えてほしい！



学んだことを、自分の地域で身近な人と話題にしてみることから始めてはどうか

君津は広い清和ワークショップのように、各地域でどう暮らしていきたいのか話し合いができるとうい

何でも市にお願いするばかりでなく、自分たちで出来ることは自分たちでやり、出来ないことを市にお願いする

やったことに満足して、やりっぱなしになりがち。一人ひとりが感じたことを、どう活かすかが大事。

『君津の暮らしを考え隊』（問合せ先：広報 齋藤みどり 54-3449）

Facebook

当会は、暮らしの疑問を出発点に、君津市の財政状況について継続した学習と調査を通じて、君津市の実情を知り、市民が君津市と暮らしのこれからを考えられることを目的としています。

※知り隊ニュースのバックナンバーは市内8公民館にあります。

仲間を  
募集

